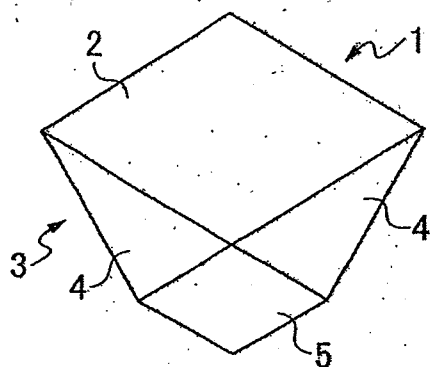
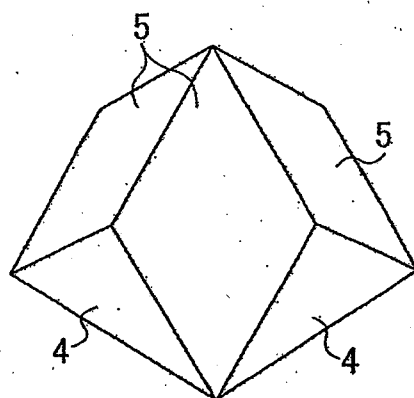


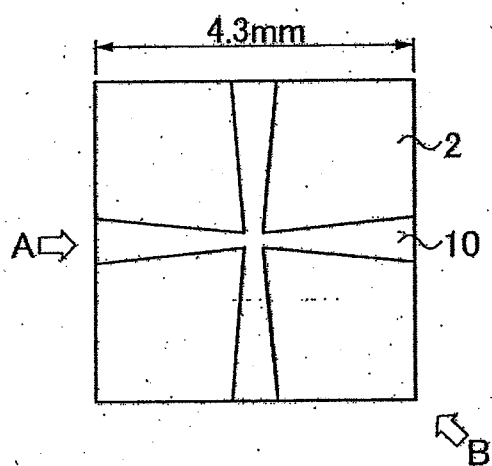
【図 1】



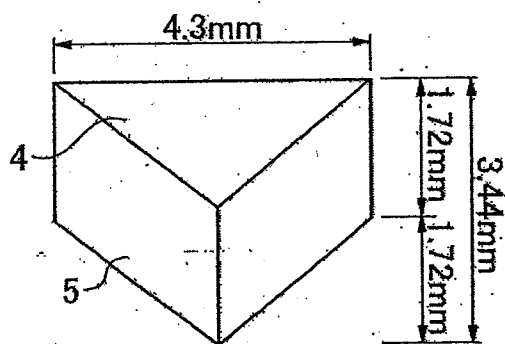
【図 2】



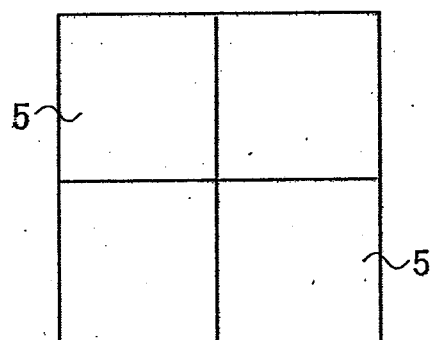
【図 3】



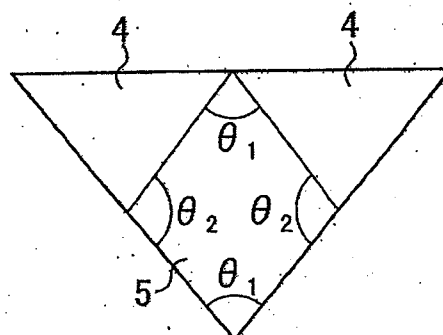
【図 4】



【図 5】



【図 6】



イ号図面の説明書

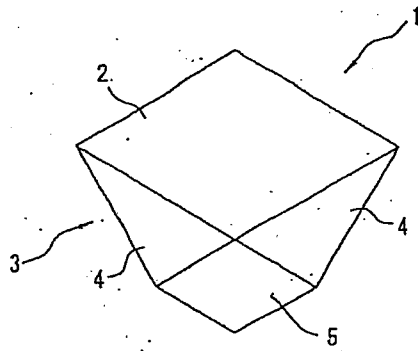
イ号図面は、ディアナサン株式会社が製造・販売している「花菱」と称するダイヤモンドのプロポーションを示すものであり、図1はダイヤモンドを上面側から斜視図、図2は同ダイヤモンドの下面側から見た斜視図、図3は同ダイヤモンドを真上から見た平面図、図4は図3の矢印A方向から見た側面図、図5は同ダイヤモンドの底面図、図6は図3の矢印B方向から見た側面図である。

これら図1乃至図6を用いダイヤモンドのプロポーションについて具体的に説明する。ダイヤモンド1は、矩形状に形成したテーブル2と、該テーブル2の下部に形成したパビリオン3とからなり、該パビリオン3は、前記テーブル2の各辺からほぼ垂直にカットして形成したロウワー・ガードル・ファセット5と、前記テーブル2の各コーナー部から中心方向に向けて斜めにカットして形成したロウワー・メイン・ファセット5とからなり、該ロウワー・メイン・ファセット5は、菱形に形成されると共に、該菱形の頂部と底部の角度 $\theta 1$ が略 $60 \sim 61^\circ$ で両側の対向する角度 $\theta 2$ がそれぞれ略 $119 \sim 120^\circ$ に形成されているダイヤモンドのプロポーションである。なお、菱形の角度については、図面上で計測したものであり、正確には計測できなかった。

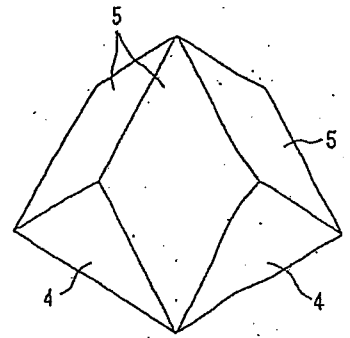
また、テーブル2の大きさと、パビリオンの高さは、テーブルの一辺の長さが略 4.3mm であり、パビリオンの高さが略 3.44mm であるので、これを比率に直すと2対1.6となる。さらに、テーブル2の面と、パビリオン3に形成されたロウワー・ガードル・ファセット4とロウワー・メイン・ファセット5とで、全体として9面カットに形成したものである。

このように形成（カット）されたダイヤモンドのプロポーションは、「伊勢の紋である菱形の花びらが浮き上がる（つまり、菱形の花びらを確立させているのは、中央部に十字状の反射光を表出させること、と同じ）。」ことである。

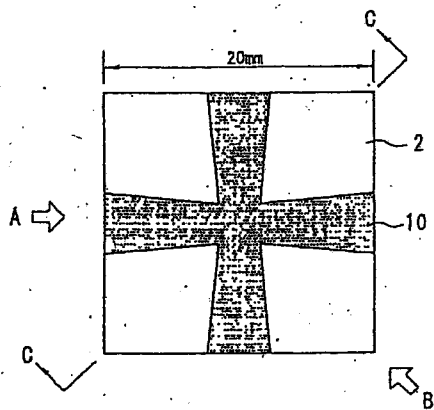
【图 1】



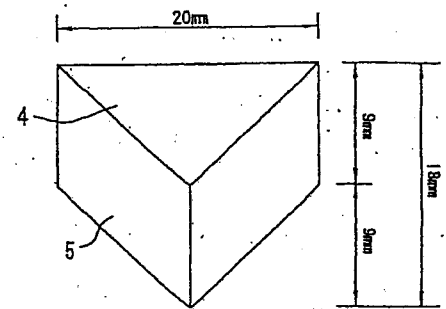
【图 2】



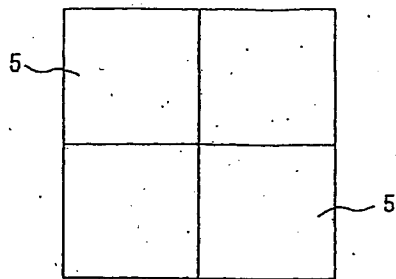
【图 3】



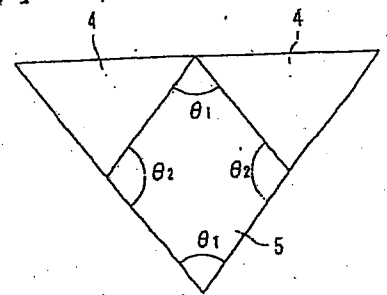
【图 4】



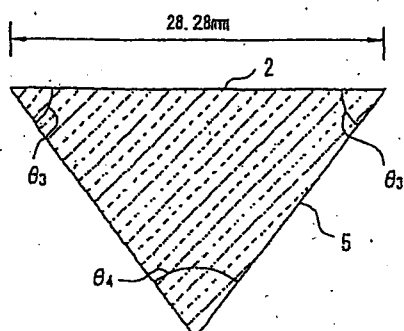
【图 5】



【图 6】



【图 7】



ロ号図面の説明書

〔図面の簡単な説明〕

- 〔図 1〕 被告製品目録 1 「9 面体アング No.0075」のダイヤモンドを上面側から見た斜視図である。
- 〔図 2〕 同ダイヤモンドの下面側から見た斜視図である。
- 〔図 3〕 同ダイヤモンドを真上から見た平面図である。
- 〔図 4〕 図 3 の矢印 A の方向から見た側面図である。
- 〔図 5〕 同ダイヤモンドの底面図である。
- 〔図 6〕 図 3 の矢印 B の方向から見た側面図である。
- 〔図 7〕 図 3 の C－C 線に沿う断面図である。

〔符号の説明〕

- 1 ……ダイヤモンドのプロポーション
- 2 ……テーブル
- 3 ……パビリオン
- 4 ……ロウワー・ガードル・ファセット
- 5 ……ロウワー・メイン・ファセット
- 10 ……十字状の反射光